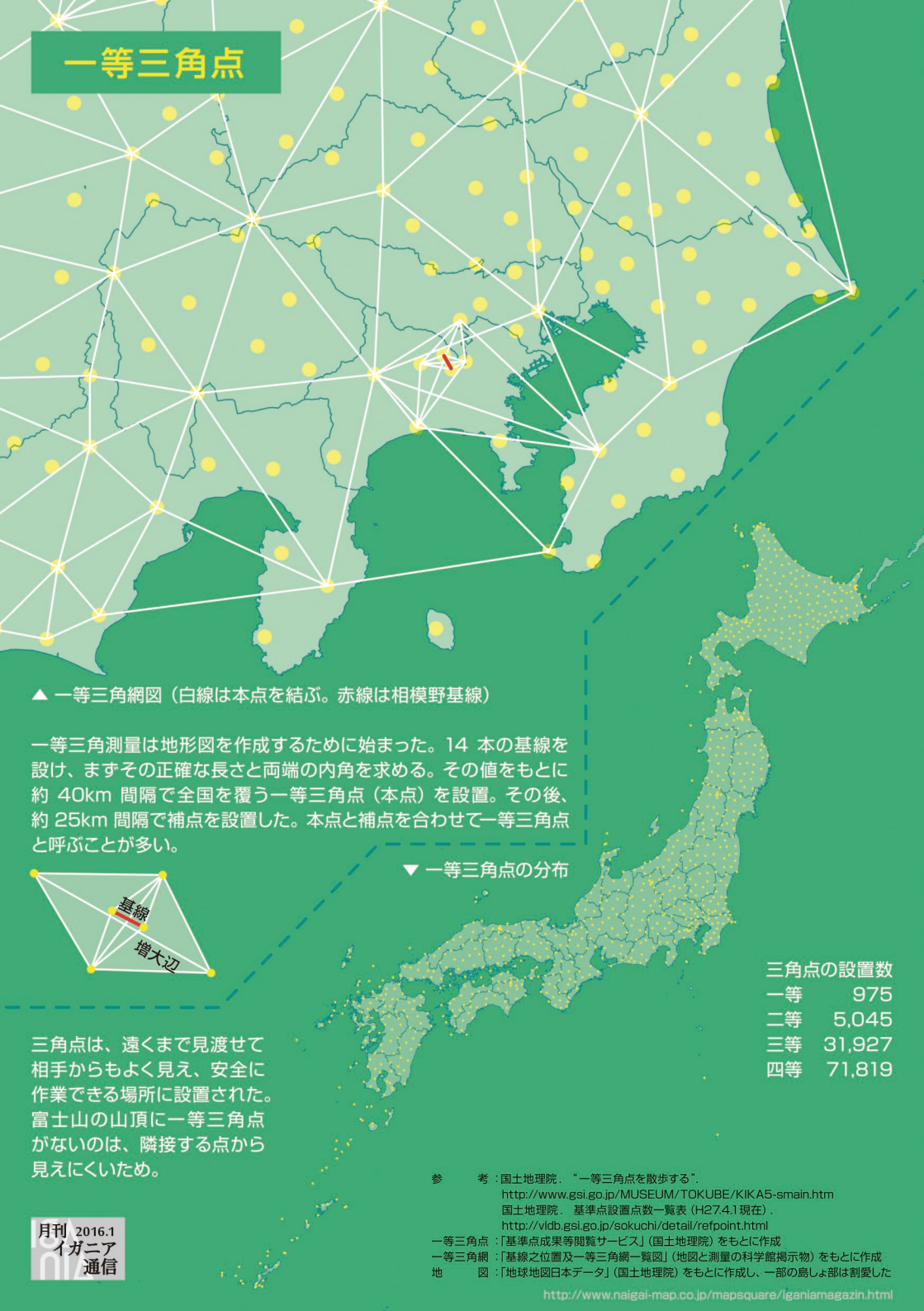


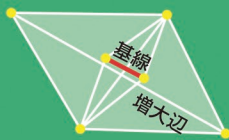
一等三角点



▲ 一等三角網図 (白線は本点を結ぶ。赤線は相模野基線)

一等三角測量は地形図を作成するために始まった。14本の基線を設け、まずその正確な長さや両端の内角を求める。その値をもとに約40km間隔で全国を覆う一等三角点(本点)を設置。その後、約25km間隔で補点を設置した。本点と補点を合わせて一等三角点と呼ぶことが多い。

▼ 一等三角点の分布



三角点は、遠くまで見渡せて相手からもよく見え、安全に作業できる場所に設置された。富士山の山頂に一等三角点がないのは、隣接する点から見えにくいため。

三角点の設置数	
一等	975
二等	5,045
三等	31,927
四等	71,819

参考：国土地理院。「一等三角点を散歩する」
<http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/TOKUBE/KIK A5-smain.htm>
国土地理院。基準点設置点数一覧表 (H27.4.1 現在)。
<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/detail/refpoint.html>

一等三角点：「基準点成果等閲覧サービス」(国土地理院)をもとに作成
一等三角網：「基線之位置及一等三角網一覽図」(地図と測量の科学館展示物)をもとに作成
地図：「地球地図日本データ」(国土地理院)をもとに作成し、一部の島しょ部は割愛した
<http://www.nalgal-map.co.jp/mapsquare/iganiamagazin.html>